



連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局
Tel 090-4825-7174 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>
Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第 390 号

(創刊 1988.12.14)

2022.03.06.

桂台トンネル騒音・振動・低周波音 被害調査アンケート結果

前号連協ニュースで1月に「桂台トンネル工事による家屋・健康などの被害状況調査」を行い 68 軒の方から回答を頂いた事、コロナ感染収束後回答の集約を行うことをお知らせしました。しかし感染収束が見通せず、会合は開催せずに取り敢えず集約だけ行いました。白紙回答が3枚あり、それらを除き有効回答数 65 枚を集約しました。

健康等の被害状況では騒音があったとの回答が 50 軒 (76.9%) あり、その中で 10 軒の方は頭痛、圧迫感、不快感、そして不眠の症状等健康被害を訴えています。騒音が酷くて眠れず眠剤を服用された方がお二人いました。

家屋・外回りの変状は合計で 16 軒 (25%) ありましたが、工事が原因だと明確に判断するのが難しいため、お一人を除いて事業者への被害申し出は行っておりません。騒音被害にしても建物被害にしても申し出をしなければ、事業者は被害は生じていないと勝手に判断して工事を進めます。些細な異変でも遠慮せず事業者へ申し出てください。

現在から将来にわたる不安・心配では、外環道事故の記憶があり、陥没・地盤沈下が不安と答えた方がトンネル工事沿線では 74% ありました。

今後シールドマシンの進行に併せ調査票をお届けしますので、異変を感じた場合は日時と内容を書き留めておいてください。2 月上旬に 3 軒のお宅に設置した騒音・振動計は、データを 24 時間電通大へ送信しますので被害発生の場合は証拠として役立ちます。

(騒音・振動・低周波音被害調査グループ)

井上さくら議員が横浜市議会で質問

2 月 15 日に横浜市の常任委員会である建築・都市整備・道路委員会で、令和 3 年度の補正予算に関連して横環南と上郷公田線について厳しい質問を道路局に対して当委員会の井上さくら委員が行いました。

横環南に設置される 2 基の排気塔に脱硝装置を付加することが全会派一致で請願が議決されたが、その後の横浜市のフォローが口頭だけの要請では不十分であり文書として改めて要請すべきであると迫りました。この追及に対して議長は議論の末、再度委員会として文書として要請すると約束を勝ち取りました。

なおこのやり取りは「横浜市議会中継」としてビデオがいつでも web から見られますので是非皆様も上郷公田線の部分も含めてご覧頂きたくご案内します。(比留間)

訃 報

去る 2 月 14 日、連協副会長の高村信夫さん(西ヶ谷)が 74 才でお亡くなりになりました。ご病気のため最近では連協の会議にも出席されず、闘病されておられました。

10 年以上の間、副会長として連協を支えて下さり誠に感謝に堪えません。特に横浜で開催された全国道路連の全国集会ではいつも議長として見事に議事を取り仕切って頂き、お陰様で横浜大会は運営が上手との評判を頂きました。

連協道路ニュースにも度々執筆され、皆さまも記憶に残るニュースを提供して頂きました。この度連協を代表してご家族葬に数人の役員と一緒に御邪魔し御礼を霊前に申し上げました。ご冥福をお祈りいたします。(会長 比留間)

桂台トンネルシールドマシン再稼働

2月10日にNEXCO 東より昨年7月14日以降7カ月間停止していたシールドマシンの修理が完了したので、2月14日から掘進再開することと故障原因の説明がありました。

16台のカッター駆動モーター（約250KW/台）の軸に取り付けたピニオンギヤでマシン前面のカッターを回転させる動力を大口径ギヤに伝えるが、このピニオンギヤのスラスト力による脱落を防止するために駆動モーター軸に取り付けた押さえ板の4本の固定ボルトが破断して飛び散り、他の7台のピニオンギヤと大口径ギヤに噛み込んだことが故障原因とのことで、マシン組み立て時に押さえ板固定ボルトをボルトの耐力以上に過剰に締めたことが破断の原因との説明でした。なお、シールドマシン故障原因はWEBで「NEXCO 東日本、横浜工事事務所、プレスリリース」で検索すると2022年2月2日付けのものが確認できます。（事務局長 長谷川誠二）

桂台のトンネル工事は安全か？

シールドマシンの掘進は2月14日から再開し、21日には湘南桂台へ差し掛かりました。今後100日前後掛けて回転立坑まで掘り進むと見込みますが、トンネルが通る湘南桂台の地層には注意が必要です。

NEXCO 東が道路公団時代の2002年に湘南桂台地区で行った土質調査では、トンネルが通る砂岩層は流動化を生じる虞がある未固結な砂岩が頻繁に現れるので、砂岩層全体を含水低固結砂岩から成る地層と捉える必要がある。一方で地上部が住宅地の谷埋め盛土地が分布しているので、地下水位をできるだけ下げない遮水工法が対策として適切と指摘しています。（下図参照）

2008年の第4回都市型トンネル施工技術検討会でシールド工法の適用が可能と判断され、翌年にかけて検討業務が行われました。

気泡式泥土圧シールド工法が遮水工法として

有効でないことは、外環道の陥没、地中空洞化事故だけでなく、新横浜の環状2号線の地下鉄工事で発生した道路陥没事故でも証明されています。気泡式地下水を抑えることは出来ません。未固結の砂層に出会えば空気は上に逃げ、地下水と流動化した砂が流れ込みます。桂台トンネルで陥没、空洞事故が絶対に起きないとは断言できません。盛土中の地下水が抜ければ地盤沈下を引き起こす虞があることも上述の土質調査報告書には書かれています。

2月10日の説明でNEXCO 東の工事長は、シールド工法はカッター前面の土圧+水圧とチャンバー内の土圧を同じにして掘削するので大丈夫と言いましたが安心できません。NEXCO 東は水準測量のデータをリアルタイムで開示すべきです。工事沿線の方はマシンの通過前後に建物と外回りを注意深く観察し、異常があれば直ちに事業者へ申し出て下さい。（ネオポリス H・O）

対外活動報告

- 02/08-09 NEXCO 東よりのシールドマシン故障原因説明を受ける（犬山町対象）
- 02/10 同上（連協対象）
- 02/07~09 桂台トンネル低周波振動測定器設置（上之、桂台南地区に3台）
- 02/13 井上さくら市議に上郷公田線の現況と問題点を報告
- 02/15 井上さくら議員が市議会にて上郷公田線問題と市議会請願採択の脱硝装置設置要請状況について糺された。
- 02/17 外環道工事認可取り消し、工事差し止め訴訟第14回口頭弁論、報告集会（会長参加）
- 02/18 低周波調査会（会長 zoom 参加）
- 02/22 区政推進課打合せ（会長）
- 03/02 上田、石垣先生横環南見学、低周波振動計の確認及び打合せ
- 03/04 シールドマシン勉強会（大成事務所）
- 03/04 低周波調査会（会長 zoom 参加）

